

事業実績書

令和6年3月31日

団体名 あやべボランティア総合センター

<p>事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)</p>	<p>まちづくりを進めていくための市民の底力＝「市民力」を引き出し、市民・ボランティア活動の活性化や、ボランティアマインドの広がりを進めることにより、「人」「まち」「自然」が生き生きと輝き、誰もがいつまでも心豊かに安心して暮らすことが出来る理想とする綾部を目指す。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>ボランティア活動推進事業</p>
<p>事業費 (市補助金)</p>	<p>1,823,050円 (1,587,000円)</p>
<p>補助金の使途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア学習・福祉教育 ・ボランティア分野別部会活動費 ・助成金情報の作成・発行等 ・啓発・広報活動/ホームページ管理・運営 ・センター運営に関わる経費等 ・車両の維持管理 ・事務機器の維持管理費
<p>事業実施期日</p>	<p>令和5年4月1日～令和6年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>市内全域</p>
<p>事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアコーディネートの強化 ○ボランティア活動の支援 ○ボランティア活動参加への“きっかけ”と“学びの場”づくり ○“幅広い協力体制”を築き、ボランティア活動の新たな可能性を引き出す ○ボランティア情報の発信 ○災害ボランティア活動の支援 ○センター運営のための“基盤強化” <p>※今もコロナ禍で事業縮小となっているが、少しずつ感染予防の徹底と事業内容を工夫しながら実施できることを始めている。今年度も、感染拡大に十分気を付けながら、さらに活動した。</p>
<p>補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)</p>	<p>私たちの身の回りでは、今、過疎化・少子高齢化が進行、また、時代の流れにより、大切にしたい考え方や価値観の多様化、自然災害の増加、思いもよらない社会情勢の変化が起こるなど、時代に即したまちづくりの在り方が問われています。</p> <p>このような時代の要請から、当センターは、変化し続ける未来を見据え「ブレない」そして「しなやかな」活動展開を図るため、「第2次あやべボランティア総合センター基本計画」(令和2年度に策定)に基づき、多様なボランティア・市民活動への支援や、市民啓発などの事業の推進、各種団体との連携強化、人材の発掘・育成、また、ニーズに応じ各関係機関との連携・協議を図り、「新たなしくみ」をより多く生み出すことで、市民・ボランティア活動による理想とするまちづくりの実現を目指した。</p>

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支計算書

令和6年3月31日

団体名 あやべボランティア総合センター

(単位 円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	1,587,000	1,587,000	綾部市
雑入	100,000	235,370	コピー・印刷機利用収入	
繰越金	848	848	前年度繰越金	
合計	1,687,848	1,823,218		
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	事業費	545,000	678,062	ボランティア学習・福祉教育 76,371 共催事業分担金（サマーボランティア） 50,000 ボランティア分野別部会活動費 35,787 助成金情報作成・発送等 72,042 啓発・広報活動/ホームページ管理・運営 125,721 センター運営に関わる経費等 280,277 （コーディネーター研修・運営委員会・総会開催等） その他事業にかかる備品・書籍等 37,864
運営費	1,142,848	1,144,988	電話料（40-1388） 112,705 コピー機リース料 282,480 コピー機使用料 335,448 印刷機リース料 11,880 ネット・データー・パソコンなど環境整備費 84,340 車両維持管理経費 229,881 その他消耗品ほか 88,254	
合計	1,687,848	1,823,050		
差引	0	168		